



子育て支援や新医療体系を紹介するパンフレット

難波正吾

医療費助成制度について

問 平成20年に対象年齢を小6まで上げた市長の施策は、県内の先駆けだった。しかし、市長は2月22日の記者会見で6年生までの無料化及び中3までの入院費無料化は、本当に良いものか私自身反省をしていると述べた。また、厚生委員会でも医療費適正化の取組の提案があった。市民は、

市の取組を知って大変関心を持っていて。児童期までは病気になるのが早く、アトピー、喘息など長引く病気も増えている。病気の早期発見と早期治療、治療の継続を確保する上で医療費の助成制度は重要な役割があるというのが市民の声だ。制度の後退は、市民の願いにそむくもので、安定的で持続可能な制度として運営する必要がある。市長は、どのように受け止めるか。

答 この制度を廃止に追い込むとか、自己負担額がどうだということは何が何でもしようとしているわけではない。(市長)

住宅リフォーム助成制度について

問 この制度について、その後の対応はどうか。

答 財政的な投資をすることは是だと思う。(市長)

頓宮美津子

今後の行政運営について

問 人口の将来推計は財政見直しや政策立案の基礎データになるとされている。本市でも2020年には全国よりも3年早く3割近い高齢化率となる予想がある。そこで、この推計を活用し、公的年金・医療費・介護等の社会保障等の行政運営を計画的にしてい

答 大切なことだと認識している。大いに活用していきたい。(市長)

問 自立する総社市を目指すには市民と一体になって取り組むことが重要。人口推計等が厳しい状況も市民と共有するため、広報紙などに掲載してはどうか。

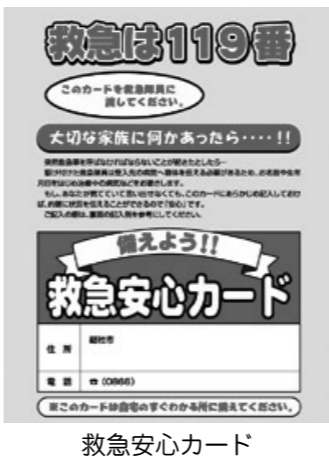
答 大事なことなので、やって参りたい。(市長)

問 教育行政においては既に活用していると思うが、市内

緊急・災害対策について

問 救急安心カードの利用率はどうか。

答 38%と少ないが、役に立っている。是非活用してほしい。(消防長)



問 携帯用の安心カードを高齢者用・障がい者用・子ども用など目的別に作成してはどうか。

答 よく検討して、是非作っていききたい。(消防長)

笠原武士

地域コミュニティについて

問 市内の現状はどうか。

答 20団体で一万三千戸が加入している。(市長)

問 小学校単位に窓口を一本化する予定があるか。

答 15の小学校を単位に補助金を一括化する。(市長)

問 一括化によって、補助金全体が減少することはないか。

答 減少が目的ではない。自由度が増して、地域がより活性化すると考える。(市長)

問 一括化により地域での報告等の事務作業が増えないか。

答 作業が大変になると思うが十分に説明する。(市長)

問 市の窓口と地域の関係はどうなるか。

答 現状の窓口は残す。(市長)

問 地域ごとに特性や慣例があり、画一的実施は困難にないか。

答 地域ごとに特性や慣例があり、画一的実施は困難にないか。

と考えるがどうか。

答 山手、清音は合併前からの慣例があり、画一的な実施は困難と考える。(市長)

問 小学校単位では、人口や面積の差が大きい。地域の特色に合わせた実施方法を考えるべきと考えるがどうか。

答 基本的には小学校単位で実施したい。地域からの要望も十分に聞いて実施方法を検討していきたい。(市長)

村木理英

そうじゃ

吉備路マラソンについて

問 今大会での反省点にはどういったものがあるのか。

答 総事業費8400万円のうち市の負担は1800万円である。今後、ビッグスポンサーを募り市の負担を減らす工夫をする。ランナーの交錯を無くすコース設定、道幅、また、受付、開会式、スター



地域コミュニティの拠点としても活用されている公民館分館

ト地点、ゴール地点、救護コーナーの動線を改善する。(市長)

問 県、岡山市との共同開催についてはどうか。

答 これを阻む理由はわからない。県が上、総社市が下というスタンスで取り組んでいる。(市長)

障がい者千人雇用について

問 「雇用」の意味をどのよ

うに考えているのか。

答 福祉的就労や民間での実習も含めて雇用と考えている。(市長)

問 企業が雇用できない環境をどう認識しているのか。また、どう取り組むべきと考えているのか。

答 企業のニーズと障がい者の技能の細かいマッチングをしていくことが、これからすることだと思っている。(市長)



「障がい者ワークわく そうじゃ」就職面接会